

# おすすめスポット

私の



下岡本町 荒井 明子さん

## 旧篠原家住宅

皆さんの知らない「宇都宮」を紹介します。



J宇都宮駅西口、奥州街道沿いにある旧篠原家住宅

篠原家は、宇都宮を代表する旧家の一つで、戦前まで、しょうゆ醸造や肥料の販売を営み、宇都宮でも5本の指に入る豪商でした。また、広大な土地を所有し、最盛期には150人以上の小作人を抱えていたそうです。

昭和20年の宇都宮空襲で一部焼失しましたが、主屋などは戦火を逃れ、現在国の重要文化財に指定されており、平成9年から一般公開されています。高さ11メートルを超えるケヤキ



昭和20年の宇都宮空襲で一部焼失しましたが、主屋などは戦火を逃れ、現在国の重要文化財に指定されており、平成9年から一般公開されています。高さ11メートルを超えるケヤキ

の大黒柱をはじめ、太くて長い柱や一枚板が多く使われている主屋は、今から113年前の1895年(明治28年)に造られました。この家を建てるために、一山まるごと購入し、狂いがでないように、切った後10年間寝かせた木材を使用しているといわれています。廊下や床には客室や床の間に使った木材の残り板を有効利用したと伝えられているなど、ぜいたくな材料をふんだんに使っているながらも、それを無駄にしない商人魂もうかがえます。

## 地域はひとつ みんなの自治会

成功のカギは 地域に尽くす会員の力

山本自治会



自治会長 坂本 登さん

山本自治会では、空き巣などの犯罪や、交通事故などを未然に防ぐため、平成16年から毎月4回、町内パトロールを行って見通しが悪くなっている場所などは、管理している人に伐採を頼むことなどもしています。

実際にこのような活動を担っているのは、自治会の中に組織された防犯パトロール隊で、山本交番と連携して結成しました。交番の警察官も一緒にパトロールしてくれるので防犯効果も高く、隊員も安心です。自治会が普段からしつかり活動していることが認められたので、応援してもらえたのだと思います。

また、人通りがまばらになる夜の防犯活動の一つとして、市内で初めて「青色防犯灯」を導入しています。

これらのことは、ボランティア精神を持つ多くの会員の力があって初めて実現することができたのです。よりよい自治会活動を続けていくには、地域のために尽力している人がどれだけいるのか、が問われるのではないのでしょうか。

青色は、心が落ち着くリラックス効果があるとされています。科学的な根拠ははっきりしません。導入後、地域内の犯罪は減り、住民の防犯意識も高くなりました。



今年2月から導入した 青色防犯灯

データから見た自治会2 自治会では、加入実態調査をはじめ、加入促進キャンペーンの展開、公共施設などでののぼり旗の掲示など、さまざまな加入促進活動を行うことによって、昨年に比べ、自治会への加入世帯が全体で約400世帯増加しました。「まちづくりの第一歩は自治会への加入から」皆さんも自治会活動に参加してみませんか。☺ みんなでまちづくり課1 (632)2900、市自治会連合会事務局1 (632)2289